

# 美しい 県土づくりNEWS



2007年

4月

岩手県県土整備部  
手づくり広報誌 33号  
平成19年4月5日発行  
編集 県土整備企画室

## 目次

- P 2 ●「仙人峠道路・上郷道路」待望の開通
- P 4 ●釜石港公共埠頭拡張工事が完了
- P 6 ●安心安全 かけ崩れ危険箇所からの住宅移転支援
- P 8 ●安心安全 三陸高潮事業「津軽石水門」竣工
- P 9 ●環境協働 気仙川流域環境フォーラムを開催
- P 10 ●パートナー紹介（環境パートナーシップ）
- P 11 ●パートナー紹介（遠野市）
- P 12 ●いわてのまちづくり
- P 13 ●トピックス 県から大船渡市への道路事業の移譲
- P 14 ●トピックス 八幡平の春先除雪が始まりました
- P 15 ●トピックス いわて花巻空港の進入灯
- P 16 ●みんなの声 県政提言
- P 19 ●道路開通情報 笹間バイパス
- P 20 ●お知らせ 県立都市公園平成19年度オープン
- P 21 ●お知らせ 「小岩井農場一本桜」看板を製作

## 岩手の風景

### “小岩井農場一本桜と秀峰岩手山”（雫石町）

今年の見ごろはいつ頃でしょうか？

残雪の岩手山と新緑の農場をバックに一本桜が風に吹かれて悠々と咲き誇っているさまは、まさしく岩手の春を象徴する絶好の景観となっています。この桜は、NHK朝の連続テレビ小説“どんど晴れ”にも登場し、更に注目を集めそうです。



桜が満開の折には、カメラを抱えた県内外からの観光客で賑わいます。

今後一本桜を訪れる県内外の観光客の増加が今後ますます予想されることから、この桜を所有している小岩井農牧(株)と雫石町では、一本桜前を通っている広域農道沿いに、「小岩井農場一本桜駐車場」を整備しました。また、県では小岩井農牧(株)と雫石町の協力のもと「小岩井農場一本桜看板」を製作しました。

詳しくは、お知らせP21をご覧ください。

## 一般国道283号「仙人峠道路・上郷道路」待望の開通！！

釜石市と遠野市を結ぶ一般国道283号仙人峠道路、上郷道路が3月18日ついに開通しました。北上高地の難所、仙人峠を克服する道路の開通は、長年に渡る地域住民の悲願でした。

今回の開通により、釜石市～遠野市間の所要時間は約20分、距離は5.7km短くなります。

また、急峻な仙人峠の急カーブ、急勾配が大幅に解消されるため、安全で円滑な道路交通が確保され、地域産業の振興などの効果も大いに期待されます。

開通式は、釜石市甲子町甲子跨線橋付近で行われ、関係者約250人が出席。アーチゲート前において、テープカットや花火で開通を祝福し、来賓車両が遠野市に向けてパレードしました。

一般開放の午後2時には、釜石側で長い車列ができるなど、多くのドライバーが仙人峠道路・上郷道路を利用しました。

- 開通区間の概要については、美しい県土づくり NEWS 3月号をご覧ください。  
⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp0602/>



[開通式典の様子]



[来賓や地元関係者の方々]



[テープカット・くす玉開被の様子]



[パレードの様子]



[パレードの様子:一般開放 14:00~]



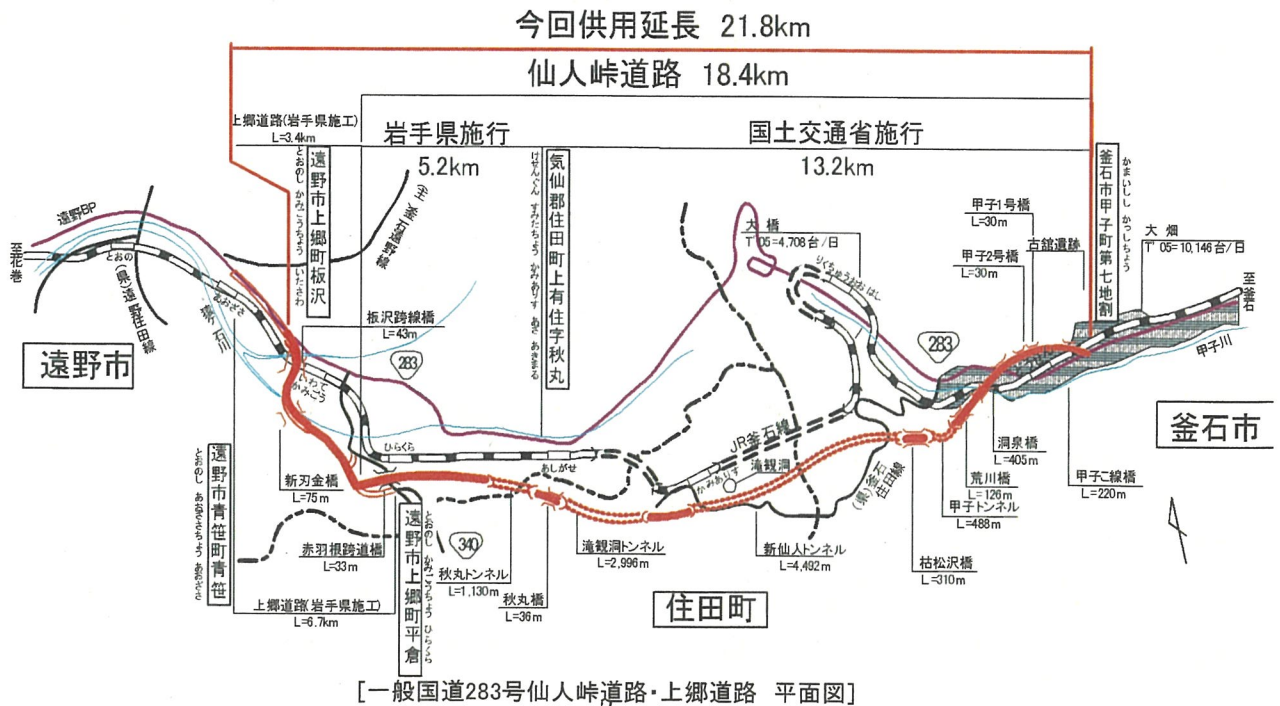
[開通を喜ぶ地域の方々]



東北最大規模の道路トンネル  
[新仙人トンネル:延長=4,492m]



[開通祝賀会での鏡割り:遠野市民体育館にて]



～産業を支える物流拠点の整備～

## 釜石港公共埠頭拡張工事が完了

釜石地方振興局



新たに整備された水深 11mの岸壁

### ○ 釜石港の沿革

釜石港は、県の南東部に位置する天然の良港です。江戸時代には漁港基地として、また、東廻り海運の重要港として繁栄し、国営製鉄所が建設されたことにより発達し、港湾貨物量は、製鉄所の拡大とともに急増しました。大正 1 年に内務省の指定港湾となり、昭和 9 年には本県最初の開港となっています。

明治 7 年：官営製鉄所の建設

大正 1 年：内務省の指定港湾となる

昭和 9 年：岩手県初の開港（開港－国際貿易のための港を開くこと）

昭和 26 年：重要港湾に指定（重要港湾－国際海上輸送網や国内海上輸送網の拠点となる港湾）

昭和 46 年：水深 7.5 m 公共岸壁の完成

昭和 53 年：世界最大水深 163.0 m の湾口防波堤の建設に着手

平成 4 年：水深 11.0 m 公共岸壁と水深 7.5 m 耐震強化岸壁の建設に着手

平成 15 年：総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）に指定

（リサイクルポート－廃棄物やリサイクルに関わる物資の物流拠点）

平成 19 年 3 月：湾口防波堤概成・水深 11.0 m 公共岸壁と水深 7.5 m 耐震強化岸壁完成

・新仙人峠道路開通 産業を支える港湾と道路の一体的整備。

○ 公共埠頭拡張工事の概要

・岸壁が3箇所

既設の水深7.5m岸壁に加え、岩手県唯一の耐震強化岸壁（水深7.5m）と多目的国際ターミナル（水深11.0）を増設。

・埠頭用地が拡大

既存から3.3ha増え8.7haに拡大。

・将来的に外国との直接貿易が行なわれることを想定し、テロ事件等に対する保安施設を強化。



新たに整備された埠頭用地3.3haの全景

○ 現在とこれからの釜石港

近年は、トヨタの陸揚げ・積出し、配合飼料の輸入、IPP 石炭火力発電事業に伴う石炭の輸入が段階的に開始され、平成15年には、国土交通省より、全国でも数少ない総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）に指定されました。

また、昨年12月には、横浜港から外国船に積み込む荷物をコンテナ化して輸送する内航フィーダーコンテナ航路の試験事業を実施しました。定期航路化に向けて、荷物の確保や港湾機能拡充の取り組みが今後も続けられます。

新仙人峠道路開通との相乗効果により、釜石港はますます活発化し、『岩手と世界を結ぶ物流拠点』として躍動していきます。

釜石地方振興局から

タイトなスケジュールの中で打ち合わせを繰り返し、事故無く現場を完成させた施工業者・現場の方々、工事にご協力頂いた釜石市民・企業の方々に心より感謝申し上げます。

問い合わせ先 釜石地方振興局 Tel.0193-25-2708

# 安全安心 がけ崩れ危険箇所からの住宅移転支援

砂防災害課

平成 18 年度から実施している「がけ崩れ危険住宅移転促進事業」の取組み状況を紹介します。

この事業は、がけ崩れのおそれがある土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）から住宅を移転する場合、移転経費などの補助が受けられる制度です。

担当者

砂防災害課 砂防担当

技師 小田島 淳

北上市出身



どの施策も、やることは違っても目的は同じ、「人の生命を守ること」です。県民目線を常に心がけて仕事に取り組んでいきます。

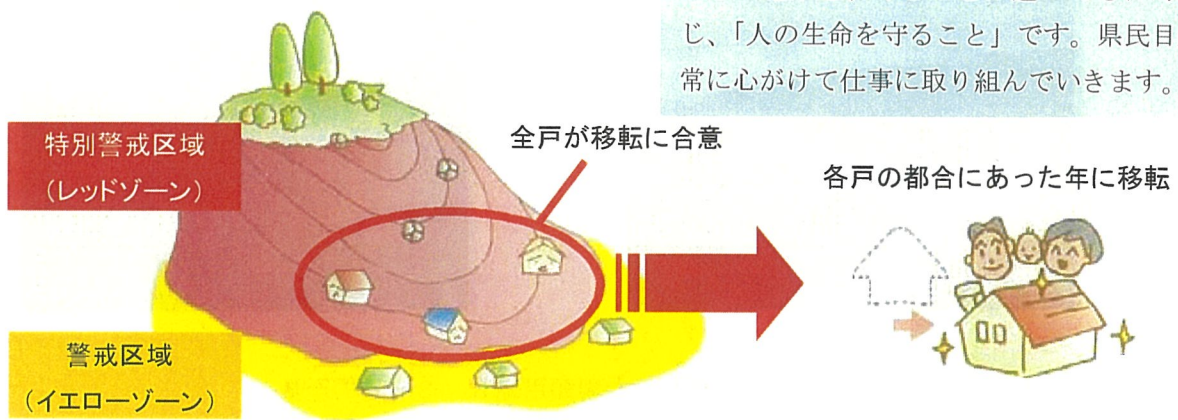


図 1 事業のイメージ

## 1. 平成 18 年度の取組み

	①事業を広くお知らせすること	②土砂災害特別警戒区域内にお住まいの方々の意識を調査	③土砂災害警戒区域等指定の拡大
4月	事業施行 新聞で紹介 ラジオ、テレビで紹介		釜石市内 13 区域指定
7月		戸別訪問、事業説明会及び意識調査実施（NPO と協働）	久慈市内他 37 区域指定
10月	新聞で紹介 ラジオ・テレビで紹介		花巻市内 3 区域指定
1月			大船渡市内 47 区域指定 岩泉町内 15 区域指定
4月			釜石市内 20 区域指定 ※県内計 600 区域指定 (平成 19 年 4 月 3 日現在)

このような取組みを進めた結果、平成 18 年 10 月に初めて、釜石市内の 1 地区 6 世帯が移転に合意しました。そのうち 2 世帯が平成 19 年 3 月に移転を完了しております。

## 2. 平成 19 年度の取組み

事業の周知徹底や指定区域の拡大に努め、関係市町村やNPO等関係機関との連携を密に図りながら、安全な地域への移転を支援していきます。

## 3. 支援内容

警戒区域（イエローゾーン）と特別警戒区域（レッドゾーン）内に原則として合計5戸以上の住宅がある箇所、特別警戒区域（レッドゾーン）内の全住宅が移転することに合意した場合に図2の支援があります。合意後、移転は各戸の都合にあった年に実施できますが、危険な箇所ですので早めの移転が必要です。

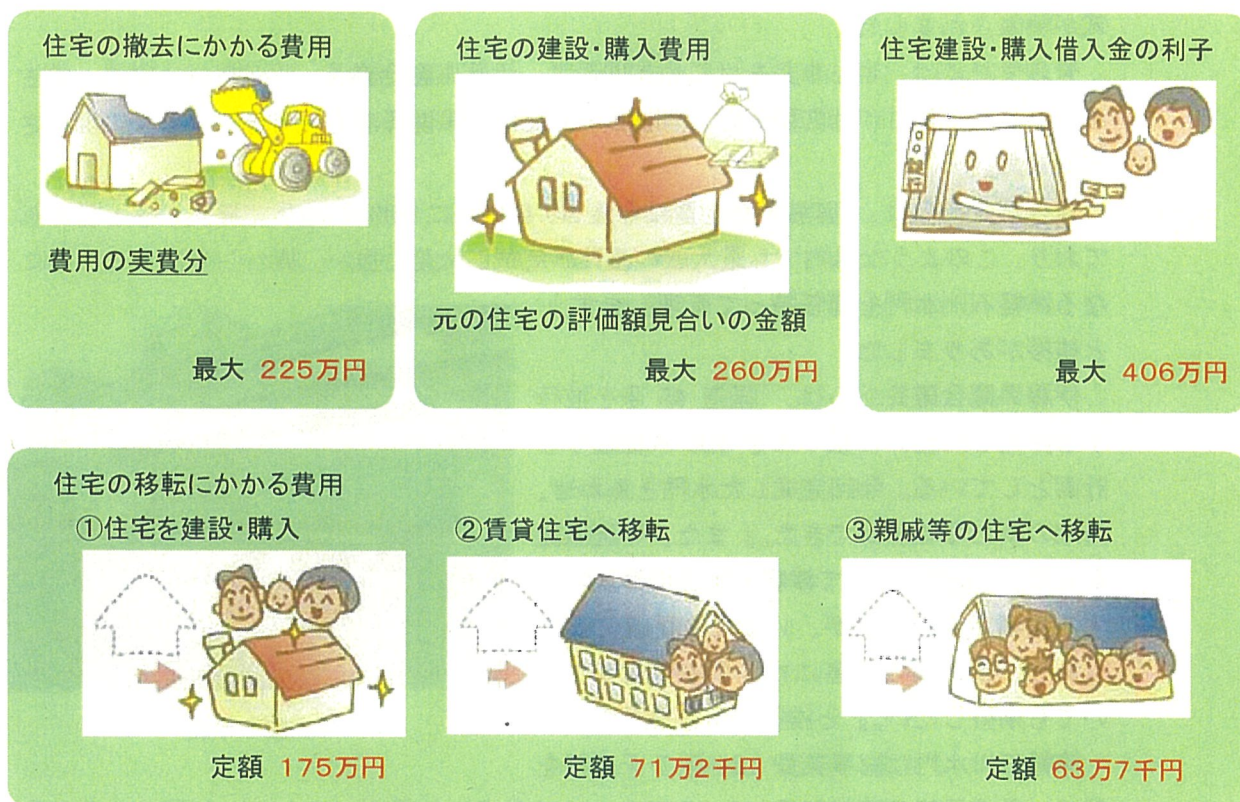


図2 支援内容

## 4. 事業施行の経緯

岩手県は土砂災害対策としてこれまでハード対策中心で対応してきましたが、多大な費用と時間を要するため整備が進まない状況にあります。このような中で、土砂災害警戒区域等の指定による危険な箇所の周知や、大雨等で土砂災害のおそれがある時にはその情報をテレビ等でお知らせする（土砂災害警戒情報）などのソフト対策を進めています。

そのソフト対策のひとつとして平成18年度から施行されたのが「がけ崩れ危険住宅移転促進事業」です。この事業は住民懇談会やアンケートを実施して危険箇所にお住まいの方々のニーズを調査し、有識者の意見を聞きながら検討を重ねて生まれました。

事業の詳しい内容については最寄りの県振興局等の土木部・土木センターまたは県庁砂防災害課（電話019-629-5922）までお問い合わせください。

# 安全安心 三陸高潮事業「津軽石川水門」竣工!!

～管理受託式を開催しました。～

宮古地方振興局

3月23日



県が、津波対策のために整備を進めてきた宮古市の「津軽石川水門」が竣工しました。竣工後の水門の管理は、地元宮古市が担うことから、県から宮古市への水門の管理受託式が開催されました。

管理受託式は、宮古市長をはじめ市関係者、伊藤県議会議長、平沼県議会議員、宮古市議会議員、宮古市消防関係者、消防団分団長ほか県関係者も見守る中、盛大に開催されました。

宮古市長からは、「宮城県沖地震は今後 30 年以内に 99%の確立で発生すると言われており、このような県内でも最大級の水門が完成し大変心強い。県から受託することになる津軽石川水門を責任持って管理します。」と挨拶がありました。

伊藤県議会議長からは、「国道 45 号と並行する津軽石川沿いに桜の木を 500 本植樹する計画としている。今回完成した水門とあわせ、当地の新たな名所ができた。」また、平沼県議からは、「水門によって津軽石地区の津波に対する整備が完成したが、いまだ未整備の箇所もあり、洪水等の災害に対応する整備等についても期待したい。」と挨拶がありました。

津軽石川水門は総事業費 124 億 7 千万円を投じ、平成元年の事業着手から 18 年をかけて完成した県内では小本川水門に次ぐ 2 番目の規模の水門です。水門の高さは、明治三陸津波地震（1896）の平均の波の高さ 8.5 mに合わせて作られています。津軽石川水門と防潮堤の完成により、780 世帯の家屋と約 220ha の土地を津波から守ることが見込まれています。



ゲートの降下状況



右岸下流側より水門を望む



テープカットの様子





## 気仙川流域環境フォーラムを開催

NPO法人環境パートナーシップいわて&津付ダム建設事務所

早春の3月10日(土)、住田町内においてNPO法人「環境パートナーシップいわて」と大船渡地方振興局土木部津付ダム建設事務所の協働企画・運営により、気仙川流域環境フォーラムを開催しました。

このフォーラムは、主に気仙川流域に住む皆さんを対象に、大人と子どもが環境について共に考える機会を提供することを目的としたものです。

小中学生の部に参加した子どもたちは、森と海をつなぐ魚と言われる「ヒカリ」の釣り体験に挑戦したものの、水温が低かったこともあり釣果は今ひとつでしたが、新しい発見と大きな感動に歓声が絶えませんでした。

午後に開催された一般の部では、講師としてお招きした「くりこま高原自然学校」の佐々木豊志校長から、7泊8日の北上川ボート下りや冬の栗駒山キャンプなどの活動を例にして、『知識の習得である教科教育では身につかない「考える力」と「豊かな感性」は、過程から学ぶ「体験学習」により養っていくことが大切』とのお話がありました。

また、地元で環境保全活動等を行っている団体の事例発表を行った後、「環境と子どもたちのために、今できること」について意見交換を行いました。

今回のフォーラムをひとつの契機として、住民の皆さんによる環境保全活動の輪が更に広がり、次世代を担う子どもたちに受け継がれていくことが期待されます。



ヒカリ釣りに挑戦した35名の子どもたち



川での釣りは、ルールを守って安全に！



来場者も積極的に発言した意見交換会

フォーラムでの事例発表団体  
横田小学校PTA：菅野広紀さん  
川の駅よこた：白川周一さん  
(以上、陸前高田市)  
すみた森の案内人：佐々木慶逸さん  
緑のふるさと協力隊：若嶋和絵さん  
(以上、住田町)  
ALIVE SC：高橋渉さん  
(以上、遠野市)

問い合わせ 津付ダム建設事務所 TEL0192-48-3123



# パートナー紹介

## パートナー紹介

みんなで創るみんなの県土！ 社会資本の整備と活用を通じた地域づくりを！

県土整備部は、地域、NPO、市町村など様々な県民の方々との対話を重ね、皆さんの知恵と工夫を集めて、事業を進めようとしています。

このコーナーでは、NPOなど行政にはない得意分野を持った方々の活動や、地域の実情に合わせて独自に取り組んでいる地域や市町村の取り組みを紹介します。

第1回目は、津付ダム建設事務所と協働で「気仙川流域環境フォーラム」を開催したNPO法人環境パートナーシップいわてと住民協働で水路の整備をしている遠野市の取り組みを紹介します。

### NPO法人環境パートナーシップいわて

#### ☆ 団体概要

県民や事業者、研究者、行政等の対等なパートナーシップを構築し、県民が持続的に発展可能な循環型社会の実現に寄与するため、環境に対する意識啓発や人材育成などの活動を行っています。

#### ☆ 紹介する活動概要（協働）

気仙川流域の住民が自発的、持続的に河川環境保全活動等を行うような地域づくりを進められるよう、平成16年のNPO法人認証時から流域の住民の方々を巻き込んで、行政と協働で事業を行っています。

これまで住民参加型の現地調査会や勉強会等のイベントを延べ4回実施しています。

#### ☆ 一緒にやってみて

- ① 住民目線での取り組みが地域に受け入れられ、流域内で独自に環境保全活動等を行っていた住民団体間に相互連携の機運が高まりました。
- ② 子どもたちを対象としたイベント企画が評価され、地域のPTA連合会との協働イベント開催など、新たな連携の芽が生まれました。
- ③ NPOの豊富な人的ネットワークにより、県内外から優れた講師、ボランティアの協力が得られたことを契機に、地域を越えた新たな交流もはじまりました。



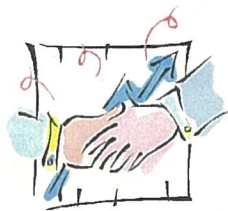
我ら気仙川探検隊！  
(第1回イベント)



地域のPTA連合会との  
連携も始まりました



五葉山火縄銃鉄砲隊の皆さん  
(ボランティア参加)



# パートナー紹介 パートナー紹介

## 遠野市 市民協働の取り組み

新遠野市の総合計画は、より質の高い市民生活を実現していくための計画です。

その実現に当たっては、市民、地域、各種団体といった多様な主体と連携、協働が不可欠です。そこで、市民と市職員によるワーキンググループ、住民意向調査、地区懇談会など市民参画の機会を数多く設けて、より多くの市民の意見を反映させた行動に結び付けようとしています。

新遠野市の歴史と文化が、市民総ぐるみの心で醸成されることが大きな宝になります。

### 【市民協働により市民の意向を反映させた事例】



#### 綾織町山口地区

古くなった水路を修繕

地域住民約30人の力で再生！  
資材は、市が提供。



#### 宮守町上鱒沢地区

ため池に木製の魚道を設置  
用水吐きの段差を解消し、生き物が喜ぶため池に！

青年会をはじめ地元住民約10名が参加。資材は、市が提供。

都市計画課発!

# いわての“まちづくり”って、 色々な種があるんですね。

～平成18年度「いわてまちづくり支援事業」から～

先駆的な市民団体、NPOの「まちづくり活動」を5回シリーズで紹介します。

## 観光客に 優しいまち づくり事業

観光客に優しい街づくりをする会  
はなまき

### ■ こんな事業です

#### ◇きっかけ◇

- \* 花巻を訪れた観光客は、観光地への案内板の整備が十分でないため、なかなか観光地にたどり着けないのが現状。
- \* 県内でも有数の観光地を持つ、新「花巻市」にふさわしい統一観光案内板（統一サイン）を市民自らの手で作り、観光客に優しい街づくりを推進して行こうと事業を開始。

#### ◇事業◇

- \* まず、統一サインについて、認識を深めるためのセミナーや先進地・遠野市でオリエンツリング（この団体の造語。統一サインだけを見て、観光目的地に到達できるか、楽しみながら行うツリングのこと）を行い、市民の意識づくりを実施。
- \* その後、統一サインの公募を行い、インターネットでの公開審査を経て、モデルを作成。あわせて、花巻市内の隠れた観光情報をHPで公開し、観光客に優しい街「花巻」をPR。

### ■ ここがアピールポイント

- \* 統一サインの公募には、応募が79点、公開審査の投票総数は2,013票。県の委託事業とは言え、知名度もそれほど高くない住民団体の活動に、これだけの関心が集まったのは、大変なもの。なお、投票は、市内6か所の投票所とHP上の電子投票で行いましたが、投票所の利用はわずか106票。市民活動は、HPによる情報発信が極めて重要であることを改めて認識しました。
- \* 花巻市内の隠れた観光情報（「花巻観光大全デジタルガイド」）をHPで公開したところ、2週間で3,000ダウンロードがありました。まちづくり活動では、「お金がかからない、面白いかも知れない、そして面倒でもない」というコンテンツを提供すると、市民の関心をひきつけることができるようです。

### ■ もう少しこうやっていたら…(反省点)

- \* セミナーやオリエンツリングの参加者が今ひとつでした。まず始めに、「花巻観光大全デジタルガイド」を無料配布して、話題づくりをしておけば、もっと面白い展開があったかもしれません。



観光地を巡るオリエンツリングの様子



設置された公募サインの試作品

[問い合わせ先] “地域における地域主体のまちづくり、まち育て!”

★ 岩手県県土整備部都市計画課 まちづくり担当 電話：019-629-5892 FAX：019-629-9137

〒020-8570 盛岡市内丸10-1 E-mail: AG0007@pref.iwate.jp

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0604/01machi/machi/machitop.htm>

## 権限移譲 県から大船渡市への道路事業の移譲

県では、住民に最も身近な基礎自治体である市町村において、住民生活に直結した行政サービスを担えるよう、県から市町村への権限移譲を進めています。

県土整備部では、平成 14 年度から県が単独で実施する道路や河川事業について、県内 4 市町村にモデル的に移譲してきました。移譲にあたっては、「権限」、「財源」の他、専門的知識・技術を持つ県職員「人」も移譲しました。

このうち、大船渡市については、平成 14 年度から道路事業を移譲し、18 年度で工事が無事終了しました。5 年間でのべ 2 人の職員が赴任しました。

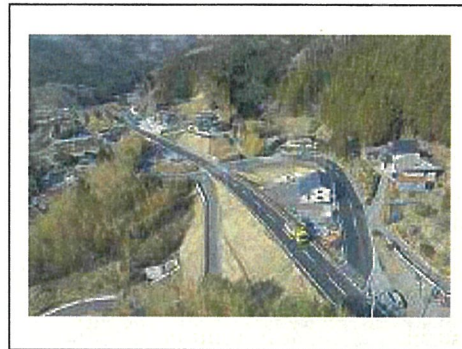
工事路線：主要地方道大船渡綾里三陸線

大船渡市猪川町前田から三陸町綾里を經由して越喜来に至る、延長約 33 km におよぶ地域の生活・産業道路として、住民の日常生活に欠かせない重要な路線。

### ◆小石浜工区

三陸町内、特に綾里地区白浜から小石浜まではリアス式海岸特有の険しい地形的制約から、道路幅が狭いうえ、急カーブ、急勾配が連続した難所です。「小石浜工区」は、この区間に位置します。集落もありますが、カーブがきつく見通しが悪いうえ、道路幅員も狭く危険な状況となっていました。

そこで、車両の安全で円滑な通行の確保を図るため、カーブを減らし、車道を広げるなどの道路改良工事を行いました。平成 13 年度に県事業として着手し、平成 14 年度から大船渡市に移譲され整備が進められ、19 年 3 月に完成しました。

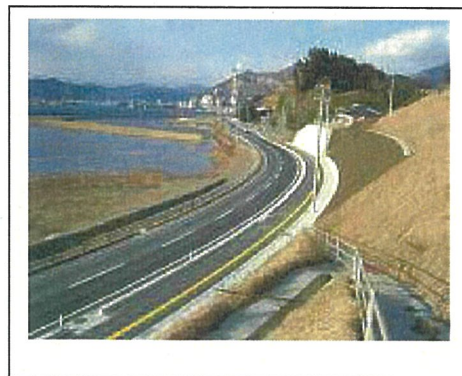


直線的道路が新しい道路  
旧道は、きついカーブ

### ◆赤崎中学校前工区

この区間は、赤崎小・中学校をはじめとする児童・生徒の通学路となっており、近くに港湾施設もあることから交通量が多い一方、カーブがきつく見通しが悪いうえ、歩道も狭く危険な状況でした。

歩行者等の安全と車両の円滑な通行の確保を図るため、カーブを緩やかにし、自転車、歩行者とも利用できる幅の広い歩道を整備しました。平成 12 年度に県事業として着手し、14 年度から大船渡市に事務移譲され整備が進められ、平成 19 年 1 月に完成しました。



道路の右側に見えるのが広い歩道

## 八幡平の春先除雪が始まりました！

岩手出張所

4月2日から八幡平アスピーテライン（主要地方道大更八幡平線）と八幡平樹海ライン（一般県道八幡平公園線）の除雪が始まりました。

今冬は近年まれに見る暖冬で、ここ八幡平も例年と比較すると積雪は少ないですが、雪の表面が溶けて凍った上に新雪が積もり、雪崩が発生しやすい状況です。このような状況の中、道がないところに少しずつ道を作っていく作業が、慎重に進められています。

開通日はまだ決まっていますが、例年同様4月下旬（ゴールデンウィーク前）の開通を目標にしています。

開通の情報はラジオの道路交通情報や県のホームページ等でお知らせします。

壮大な白亜の回廊は、本当にすばらしい景観です。ぜひお越しください。



頂上を目指して少しずつ

除雪車はエンジン全開

問い合わせ 岩手出張所

TEL 0195-62-2888

HPは、「岩手出張所」で  
検索するとヒットします。



# TOPICS

## いわて花巻空港の進入灯

花巻空港事務所

盛岡方面から国道4号を南下し、もうすぐ空港が見えてくるころ、左手にオレンジ色のT字型の構造物が何基も並んでいるのにお気づきでしょうか。

これは、花巻空港の進入灯(ALS: Approach Lighting System)です。滑走路の端から30m間隔で30基が設置されており、進入してくる航空機に滑走路への最終進路を示すものです。

今回の花巻空港拡張工事にともない、滑走路に近い進入灯7基の脆弱化改良工事が行われました。この工事は、太い鋼管柱の構造を細いアルミパイプにするものです。

補強ではなく脆弱化と聞くと驚かれる方も多いかと思いますが、これは空港に進入してくる航空機が、万が一着陸に失敗して進入灯に突っ込んだ場合、進入灯を脆弱な構造にすることによって航空機が受けるダメージを小さくしようとするもので、国際民間航空機関(ICAO)からの勧告を受けての措置です。



旧柱が撤去され新しい灯火が運用されています。

問い合わせ 花巻空港事務所 TEL0198-26-2016

# みんなの声

平成19年1月に、県土整備部に寄せられた県政提言への取り組み状況について掲載します。

## みんなで創る”みんなの県土

これからも皆様の声を大切に、県土づくりを進めてまいります。

### 【空港】

opinion/idea/proposal/recommendation

花巻空港のフライトスケジュールを見たが利用しにくい。このようなスケジュールを容認しておくことは利用者の利便を置き去りにしたものであると思うので、改定の申し入れをしてはどうか。

また、花巻空港HPでリンクが不明の箇所がある。怠慢ではないか。

2007/1/9/電子メール

#### 1. 関西国際空港便のダイヤについて

関西国際空港への就航は、従来から伊丹空港周辺の騒音問題が深刻化していたことから、その抑制のために国が打ち出した方針により、伊丹空港のジェット機発着枠が平成17年度から平成19年度までの3ヵ年で25便(50発着)削減される中で、花巻空港発着の大阪便1便についても平成18年4月から伊丹空港発着から関西空港発着となったところです。

県としては、大阪線は本県の産業、観光等における最重要路線であり、伊丹発着便の削減は容認し難いものでしたが、大阪線の座席供給数を維持するため受け入れざるを得なかったものです。なお、ご指摘のとおり伊丹空港に比べ関西空港は大阪市内からのアクセス時間を要することから、関西での滞在時間を拡大し利便性の向上を図るため、現在、航空会社に対し関西空港発着時間を遅らせるなどのダイヤ改善について要請しているところです。

#### 2. 花巻空港HPの不具合について

ご指摘のありました花巻空港HPの不具合につい

ては、更新作業時の動作確認が不十分であったためにページへ移動できない状態となっており、ご指摘をいただき修正しました。ご不便をお掛けし申し訳ございませんでした。

今後、十分な動作等の点検を行い、利用者の皆様が利用しやすい情報提供に努めていきます。今後とも花巻空港をご利用いただき、お気づきの点については御提言をお寄せくださるようお願いいたします。

opinion/idea/proposal/recommendation

原油高に伴うコスト削減のため、全国規模で地方路線がリストラになる。花巻空港発着路線も休止・減便されるので、花巻空港自体廃止に追い込まれるかもしれないという危機感を持つ必要があるのではないかと。

県民・行政は、花巻空港存続に向けた取り組みを強化する必要があるのではないかと。

2006/1/10/電子メール

現在、新聞紙上で地方航空路線の再編について、様々な報道が行われているところですが、県は、今後のいわて花巻空港発着路線や利用者の利便性の維持・拡充が図られるよう日本航空との継続的な協議を行っているところです。

いわて花巻空港就航路線の維持・拡大による利便性の確保を図るためには、路線の特性や利用状況に応じた利用促進の取り組みが必要であると認識しており、行政と民間団体が一体となって岩手県空港利用促進協議会を組織して各種の利用促進事業を行っています。その中で継続的な需要の拡大、利用者の取り込みを図るため、各就航先の旅行代理店と連携した誘致活動、二次交通としての空港乗合タクシーの開業支援による企業利用の促進、県内及び就航先への広報活動などの事業を実施しているところであり、今後ともご意見を踏まえて一層のいわて花巻空港の利用促進活動に努めていきたいと考えています。



花巻空港は交通の便が悪いので、利用率が低いのだと思う。

新幹線で行ってもそこからの繋がりがなし、電車も乗り入れてないので不便を感じる。

便を減らさないでほしいので、何か改善をして乗客を増やしてほしい。

2007/1/16/電子メール

いわて花巻空港就航路線の維持・拡充を図るためには、路線の特性や利用状況に応じた利用促進の取り組みが必要であると認識しており、行政と民間団体が一体となって岩手県空港利用促進協議会を組織し、各種の利用促進事業を行っています。

その中で継続的な需要の拡大、利用者の取り込みを図るため、空港乗合タクシー（エアポートライナー）の開設支援を行うなど二次交通の充実に向けた活動も実施しています。また、新ターミナルの整備に併せ、駐車場の駐車可能台数やターミナルビルへの移動距離など自家用車利用時の利便性についても向上させていきたいと考えています。

花巻空港について、花巻→福岡便がなくなるかもしれないとのことですが、稼働率は低くても利用している人はいるので、便数を減らしても残してほしい。

2007/1/16/知事ホームページ

いわて花巻空港の就航路線を運航している航空会社では、現在、経営の再建を図る一環として運航路線の再編を行うこととしており、路線数、便数、運航ダイヤ等の見直しを進めています。この中で、花巻→福岡線についても収支が赤字であることなどから運航を休止したい旨の申入れを受けています。

県としては、岩手県と九州の拠点空港を結び、年間約3万人の方々が見ている路線であることから運航の休止は受け入れ難いとして、航空会社に対し撤回を要請しているところですが、航空会社側では、休止の申入れが経営再建という差し迫った事情に基づくものであり、利用者の利便性を低下

せないための対策についても検討の上、改めて県に説明したいとしています。

花巻空港新ターミナルビル着工の方針を固めたという新聞記事について、航空機も交通機関の一つであり、関心は建物ではなく利便性ではないか。

利用者は出発・到着時刻で交通機関を決めます。ビルだけ新しくしても、岩手の空の玄関口にはいい時間帯がないので、今のままの運行を続けて利用者は増えない。

花巻空港新ターミナルビル建設の凍結を決定してもらいたい。

2007/1/22/知事ホームページ

いわて花巻空港発着便のダイヤについては、路線によっては朝夕の発着便が少ないなどの問題を抱えており、県としても利便性の向上が不可欠であると認識しています。このため、航空会社に対して各路線毎に運航ダイヤ等の改善の要請を行っているところです。しかし、航空会社の運航機材の確保や整備体制上の理由から改善に至っていない路線も多く、今後も継続的に運航サービスの改善に向けた働き掛けを行うこととしています。

一方、近年、国際チャーター便の就航が増加傾向にあるものの、現在のターミナルビルでは、国内線と国際線の旅客の動線を分離した施設となっていないため混雑を招いていること、ビル内のバリアフリー対策、出入国や税関等手続きに当たってのセキュリティ対策が十分でないことなどからこれらの改善を図る必要が生じています。そこで、現在、空港東側に整備を進めている駐機場や駐車場と併せて新ターミナルビルの建設を計画しているところです。

県としては、いわて花巻空港の利便性の向上を図る必要から、運航サービスの改善に向けた航空会社への働き掛けと併せて、利用者が安全かつ快適な航空利用を促進するための空港機能の充実を図る必要があると認識しており、今後もこうした観点からの取り組みに努めていきたいと考えております。

## 【景観】

opinion/idea/proposal/recommendation

新聞に「らくがき問題」についての記事が掲載されていた。らくがきをする行為は許せない  
ので、橋などの公共物へのらくがきを見つけたら、必ず警察へ被害届けを出し、犯人を捕まえ、  
処罰をあたえるべきである。

2007/1/10/フリーダイヤル

公共物に対する落書きを放置することは、景観や環境の悪化を招き、落書き行為を助長させる懸念もあることから、県では管理者として順次消去等の対策を講じているところです。

今後、悪質と判断される落書きについては、県としても警察への被害届の提出を検討していきます。

全ての提言をご覧になりたい場合は、  
県政への提言  
広聴広報課ホームページをご覧ください。  
<http://www.pref.iwate.jp/~koucho/index.html>



# 道路開通情報 笹間バイパスが部分開通

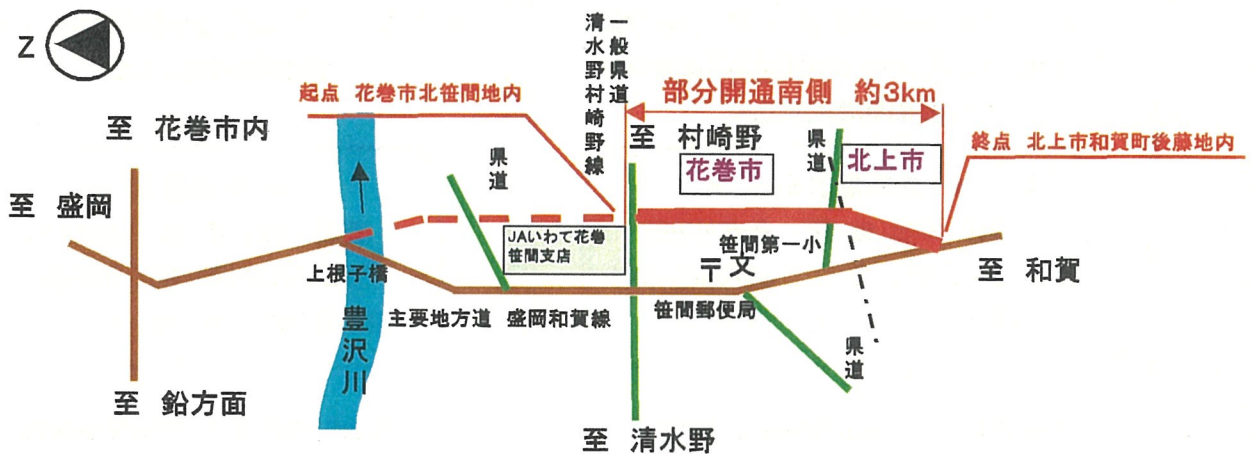
【平成19年3月28日】

主要地方道盛岡和賀線は、盛岡市と北上市を結ぶ道路で、本県の物流や通勤・通学を支える重要な道路です。

しかし、整備区間は沿線にある工業団地などからの大型車の通行が非常に多いにも関わらず、車道の幅が狭いこと(幅5.5m)、見通しの悪い交差点があること、小中学校の通学路である歩道が狭いこと(幅1m)などから、安全な通行に支障を来たしており、車の通行や歩行者の安全を確保するために早急な対策が必要となっていました。

現道は家屋が連なっており、現道の拡幅整備では、多くの家屋を移転することになり地域に与える影響が大きいため、平成15年度から笹間地区の市街地を迂回したバイパス整備(車道6.5m)を進めています。3月28日、全体計画約6.5kmのうち、南側約3.2kmが完成し、部分開通となりました。

この開通により、大型車などの通行がバイパスに分散され、交通量の減少によりこれまでの危険が緩和されることが期待されます。



主要地方道盛岡和賀線



新たに整備されたバイパス



問い合わせ先  
 県南広域振興局花巻総合支局  
 0198-22-4971

# お知らせ

## 県立都市公園平成19年度オープンのお知らせ

### 御所湖広域公園

御所湖広域公園 平成19年4月 1日(日)  
乗り物広場 平成19年4月14日(土)

また、御所湖広域公園では、下記の日程で  
“無料開放 Day”を実施しております。  
ファミリーランドの有料施設(パターゴルフ他)、  
野球場、テニスコートが無料となりますので、  
是非御利用ください。

#### ★ 無料開放day ★

5月 4日(金・祝) みどりの日  
7月29日(日) 御所湖まつり  
10月 8日(月・祝) 体育の日

問合せ先:御所湖広域公園管理事務所  
TEL 019-692-4855

### 花巻広域公園

花巻広域公園 平成19年4月 1日(日)  
県民ゴルフ場 平成19年3月24日(土)

また、花巻広域公園では、下記の日程で  
“施設の無料開放”を実施しております。  
テニスコート、運動広場が無料となりますので、  
是非御利用ください。

#### ★ 無料開放 ★

5月 4日(金・祝) みどりの日  
7月16日(月・祝) 海の日  
10月 8日(月・祝) 体育の日

問合せ先:花巻広域公園管理事務所  
TEL 0198-27-3586



お花見もいかがですか

## 「小岩井農場一本桜」看板を製作

道路建設課

岩手を舞台にしたNHK朝の連続テレビ小説“どんど晴れ”（平成19年4～9月）の放送開始により、ますます注目を集めそうな小岩井農場一本桜。

小岩井農牧(株)と雫石町では、今後県内外の観光客の増加が予測されることから、一本桜前を通る広域農道（雫石地区：昭和48年～57年整備）の円滑・安全な通行を確保（路上駐車防止）するとともに、じっくりと一本桜を鑑賞いただけるように、小岩井農場一本桜駐車場を整備しました。この駐車場は、小岩井農牧(株)管理部が管理し、桜の開花時期に限り6時から18時まで利用できることになっています（今年は4月20日～5月10日の予定）。

これを契機に県では、このすばらしい景観を維持し、後世へ継承するとともに、農道整備事業の効果的なPRに向け、「小岩井農場一本桜看板」を同駐車場に設置しました。



駐車場側



車道側

この看板も小岩井農牧(株)が管理し、駐車場の利用期間に限り設置されることになっています。桜の花のときには、ぜひとも一本桜と合わせてこの看板も御覧いただき、併せて広域農道雫石地区周辺に展開される農村風景を堪能ください。

### ■ 問い合わせ先

道路建設課 Tel: 019-629-5872

※表紙に、一本桜の写真を掲載しています。